

技友会幹事長井泰ニ説得サレテ熱心ナル技友会ノ運動者トナレルハ甚中説ナシ

二、友愛會ノ策戦

友愛會ハ従来各所ニ信用ヲ失墜シ来リシヲ以テ何ソトカシテ信用ヲ回復セザルベカラズ然レテ他日必勝ヲ期スルニハ先ツ十分黨勢ヲ擴張シ實力ヲ培養シ置クヲ要ス依テ今後ハ容易ニ輕拳盲動ヲナスベカラズトナレ其機会ヲ求メツ、有リシナリ、然ルニ今回ノ突発ハ大ニ之レニ幸シタルナリ友愛會幹部ハ會負ニ敬言告ヲ発シ極力盲動ヲ戒メ會社ノ信用ヲ獲ントカム然レテ一方社會ノ信用ヲ得又一方ニテハ技友会ノ失敗ヨリテ其會負ノ大部分ヲ自會ノ會負タラシメント劃策セリ故ニ技

友会ヨリ同一歩調ニ出テン事ヲ從順シ来ルモ遂ニ應也スレテ拒絶セリ然レテ一方會社ノ了解ヲ得テ欠勤シ一方ハ技友会ニ対スル友情トミテ罷業スルト稱シ夫レヲ実行セリ

三、技友会ノ要求條件

1. 組長ヲ公選トスルコト、
2. 五十歳均一ニ昇給スルコト
3. 戦時手當ヲ普通手當ニ引直スコト、
4. 疾病老衰ノ場合ニ支給スル勤績手當ヲ五年以上ヲ三年以上トシテ、
5. 兵役及公傷ノ場合ハ欠勤ト見做サヌコト

澤井高橋兩氏ノ談話
技友会ハ事ヲ起シテ後チ右の團體ニ交渉セシ何レモ拒絶サレテ安外ノ失望ニ陥リ且ツ會社ニテハ既ニ昇給ヲ